

注3

大学番号：私005

[平成26年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

日本医療大学

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人日本医療大学
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	学生支援グループ
職名・氏名	オカムラ セイイチロウ 岡村 誠一郎
電話番号	011-885-7711
（夜間）	011-885-7711
F A X	011-885-5757
e-mail	s_okamura@nihoniryo-c.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部(平成◇◇年度より変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健医療学部

<看護学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人日本医療大学

(2) 大学名

日本医療大学

(3) 大学の位置

〒004-0839

北海道札幌市清田区真栄434番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ツシマ ノリアキ) 対馬 徳昭 (平成5年4月)		
学長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学部長	(デンノ リュウイチ) 傳野 隆一 (平成26年4月)		
学科長等	(モンマ マサコ) 門間 正子 (平成26年4月)		学科長(看護学科)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	-	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	80人	-	80人	-	(-)	(-)	1.05倍	-	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数	-	-	-	-	289人	-	270人	-	(-)	(-)			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
受験者数	-	-	-	-	270人	-	261人	-	(-)	(-)			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
合格者数	-	-	-	-	137人	-	130人	-	(-)	(-)			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
B 入学者数	-	-	-	-	85人	-	84人	-	(-)	(-)			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
入学定員超過率 B/A	-		-		1.06倍		1.05倍						

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[-] 84人	[-] -					
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] 85人	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
4年次					/		[-] -	[-] -	
計			[-] -	[-] -			[-] 85人	[-] 84人	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	— 人	— 人	平成24年度	— 人	— 人	—	— %
			平成25年度	— 人	— 人	—	
			平成26年度	— 人	— 人	—	
			平成27年度	— 人	— 人	—	
平成25年度 入学者	— 人	— 人	平成25年度	— 人	— 人	—	— %
			平成26年度	— 人	— 人	—	
			平成27年度	— 人	— 人	—	
平成26年度 入学者	85 人	0 人	平成26年度	0 人	— 人	0 %	
			平成27年度	0 人	— 人		
平成27年度 入学者	84 人	0 人	平成27年度	0 人	— 人	0 %	
合 計	169 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<保健医療学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考						
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手							
基礎教育科目	看護を知る	1前	1			6	5	6	5	3	6	7	2	3		教員変更のため AC教員審査済	
	生命科学	1前	1			1									兼1		
	心理学	1前	1						1								
	発達心理学	1後		1					1								
	倫理学	1前		1					1								
	生命倫理	1後		1					1								
	哲学	1後		1											兼1		
	論理学	1前	1												兼1		
	宗教と思想	2前		1					1								
	人間関係論	1前		1					1								
	文化人類学	1後		1			1										
	社会学	1後		1											兼1		
	音楽	2後		1											兼1		
	法学	2前		1											兼1		
	教育学	2前		1											兼1		
	北海道史	1前		1											兼1		
	ボランティア活動	2前		1											兼1		
	生活科学	1後		2											兼1		
	自然科学	1前		1											兼1		
	環境科学	1後		1											兼1		
	生活と運動	1前		1											兼1		
	健康とスポーツ	1後		1											兼1		
	統計学	1後		1					1								
	情報科学 I	1前	1						1								
	情報科学 II	1前	1						1								
	日本語表現	1前	1							1							
	英語 I	1前	1								1				兼1		
	英語 II	1後	1												兼1		
	英語 III	2前		1											兼1		
英語 IV	3前		1											兼1			
中国語	2前		1						1								
韓国語	2前		1											兼1			
専門基礎科目	総合医療論	1前	1					1									
	形態機能学 I	1前	1					1									
	形態機能学 II	1後	2					1									
	形態機能学 III	1前	1					1									
	臨床微生物学	1前	1												兼1		
	病態病理学	2前	1					1							兼1	教授1名教員審査中(27年3月提出済)のため兼任講師が担当	
	臨床薬理学	3前	1												兼1		
	臨床栄養学	3前	1												兼1		
	治療法概論	2前	1												兼1		
	疾病論 I	2前	1					1							兼1	教授1名教員審査中(27年3月提出済)のため兼任講師が担当	
	疾病論 II	2後	1					1									
	疾病論 III	2後	1												兼1		
	疾病論 IV	2後	1					1									
	感染症概論	1後	1												兼1		
	リハビリテーション概論	3前	1												兼1		
	公衆衛生学	1後	1					1									
	保健医療統計	2前	1					1									
	健康教育論	3前	1					1									
	保健医療福祉行政論	2前	1					1	0		1	0			兼1	兼任補充可の判定により兼任講師が担当	
	社会福祉論	1後	2												兼1		
	チーム医療	2後	1							2	1	0	1			教員変更のため AC教員審査済	
	関係法規	3前	1												兼1		
	家族論	2前		1				1									
コミュニケーション論	1後		1											兼1			
カウンセリング論	3前		1						1								
臨床心理	2後		1						1								

専 門 教 育 科 目	看護学概論	1前	2			1	1			1	1	教員変更のため AC教員審査済	
	援助的人間関係論	1後	1				1			1	1		
	看護倫理	3前	1				2	±0		1		教員変更のため AC教員審査済	
	看護の基本技術論	1前	1			1	1	±1		1	1	教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)	
	生活援助技術Ⅰ	1前	1			1	1		1	1	1	教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)	
	生活援助技術Ⅱ	1後	1			1	1		1	1	1	教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)	
	生活援助技術Ⅲ	1後	1			1	1		1	1	1	教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)	
	診療過程の援助技術	2前	1			1	1	±0		±2	1	1	教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)
	フィジカルアセスメント	2前	1			1	1		1	1	1	1	教員変更のため 准教授1名教員審査中(27年3月提出済)
	医療安全	3前	1				2	±0		1			教員変更のため AC教員審査済
	基礎看護学実習Ⅰ	2前	1			1	1		±1	±2	1	1	教員変更のため AC教員審査済
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1		±1	±2	1	1	教員変更のため AC教員審査済
	成人看護学概論	2前	2			1						1	
	成人看護援助論Ⅰ	2後	1				±1		1			1	教員変更のため AC教員審査済
	成人看護援助論Ⅱ	3前	1				2		1			1	教員変更のため AC教員審査済
	成人看護援助論Ⅲ	3前	1				2		1			1	教員変更のため AC教員審査済
	成人看護学特論	2後	1				±1		1			1	教員変更のため AC教員審査済
	成人看護学実習Ⅰ	3後	4			1	±2		1			1	教員変更のため AC教員審査済
	成人看護学実習Ⅱ	4前	2				±2		1			1	教員変更のため AC教員審査済
	老年看護学概論	2前	2			1						兼1	
	高齢者の健康障害	2後	1									兼1	
	老年看護援助論Ⅰ	2後	1			1							
	老年看護援助論Ⅱ	3前	1			1							
	老年看護学実習Ⅰ	3後	2			1							
	老年看護学実習Ⅱ	4前	2			1				1			
	小児看護学概論	3前	2			1							
	小児の健康障害	3前	1			1							
	小児看護援助論	3後	1				1						
	小児看護学実習	4前	2			1	1					1	
	母性看護学概論	2後	2			1							
	女性の健康障害	3前	1									兼1	
	母性看護援助論	3後	1						2				
	母性看護学実習	4前	2			1			2				
	精神看護学概論	2後	2			1						兼1	
	精神の健康障害	2後	1									兼1	
	精神看護援助論	3前	1			1			1				
	精神看護学実習	3後	2			1			2			1	
	在宅看護概論	2後	2			±0			±0			1	兼2 専任教員補充中であるが、遅延のため27年度は兼任講師が担当
	在宅看護援助論Ⅰ	3前	1			±0			1			1	
	在宅看護援助論Ⅱ	3後	1			±0			1			1	
在宅看護論実習	4前	2			±0			1			1		
統合実習	4前	2			±3	±3	4	4	±2			教員変更のため AC教員審査済	
看護研究	3前	1			±2	±3	1	±6	±7	±1		教員変更のため AC教員審査済	
看護研究演習	4通	2			±8	±9	±6	±4	±6	±7	±3	教員変更のため 教授1名教員審査中(27年3月提出済)	
看護管理	3前		1				2	±0		1		教員変更のため AC教員審査済	
感染管理	3前		1				1						
看護教育	4後		1		1								
災害看護	4後		1								兼1		
医療情報	4後		1						1				
現代の看護と課題	4後		1								兼1		
臨床看護技術演習	4後	1			±6	±6	±5	±3	±6	±7	±3	教員変更のため AC教員審査済	
看護ゼミナールⅠ	1通	1			±6	±7	±5	±3	±6	±7	±3	教員変更のため 教授1名教員審査中(27年3月提出済)	
看護ゼミナールⅡ	2通	1			±6	±7	±5	±3	±6	±7	±3	教員変更のため 教授1名教員審査中(27年3月提出済)	
看護ゼミナールⅢ	3通	1			±6	±7	±5	±3	±6	±7	±3	教員変更のため 教授1名教員審査中(27年3月提出済)	
看護ゼミナールⅣ	4通	1			±6	±7	±5	±3	±6	±7	±3	教員変更のため 教授1名教員審査中(27年3月提出済)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
81科目	32科目	0科目	113科目	81科目	32科目	0科目	113科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：なし (借用地)運動場 20年、13,710㎡ 駐車場、1年更新、3,058㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり		
	校舎敷地	8,886㎡ 0㎡	20,945㎡	0㎡	29,831㎡ 20,945㎡			
	運動場用地	13,710㎡	0㎡	0㎡	13,710㎡			
	小 計	22,596㎡ 13,710㎡	20,945㎡	0㎡	43,541㎡ 34,655㎡			
	そ の 他	3,058㎡	0㎡	0㎡	3,058㎡			
	合 計	25,654㎡ 16,768㎡	20,945㎡	0㎡	46,599㎡ 37,713㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	日本福祉看護診療放射線学院と共用：収容定員400人 面積基準：1,480㎡ (27)平成27年4月リハビリテーション学科開設に伴い面積の変更あり			
	11,175.86㎡ 5,167.31㎡ (4,273.46㎡ 3,055.87㎡)	3,179.52㎡ (8,386.92㎡ 4,658.96㎡)	2,463.58㎡ (4,158.58㎡ 3,095.58㎡)	16,818.96㎡ 10,810.41㎡ (16,818.93㎡ 10,810.41㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	情報処理室と共用 (補助職員0人)		
	11室	8室	2室	1室 (補助職員0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		25 室		
	保健医療学部 看護学科							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	(27)図書、学術雑誌、電子ジャーナル、視聴覚資料に変更あり
	保健医療学部 看護学科	23,681[336] 20,052[333] 14,309[333] (23,281[336]) (20,088[335]) (-12,309[333])	522[30] 331[11] (422[19]) (-316[11]) (-316[10])	6[6] (6[6]) (-5[5]) (-6[6])	429 381 357 (397) (-381) (-357)	6,434 (6,450)	96 (96)	
	計	23,681[336] 20,052[333] 14,309[333] (23,281[336]) (20,088[335]) (-12,309[333])	522[30] 331[11] (422[19]) (-316[11]) (-316[10])	6[6] (6[6]) (-5[5]) (-6[6])	429 381 357 (397) (-381) (-357)	6,434 (6,450)	96 (96)	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		29,160冊 28,800冊	
	328.34㎡		80席					
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	660.00㎡		該当なし					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	46,295千円	3,000千円	3,000千円
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	128,767千円	2,000千円	2,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
保健医療学部 看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.05	平成26年度	北海道札幌市清 田区真栄434番地 1	
リハビリテーション学科 理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.95	平成27年度	北海道恵庭市恵み 野西6丁目17番3号	
リハビリテーション学科 作業療法学専攻	4	40	-	160	学士 (リハビリテーション学)	0.37	平成27年度	北海道恵庭市恵み 野西6丁目17番3号	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保健医療学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授(学長)	デンノ リュウイチ 傳野 隆一	平成26年4月	総合医療論 形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 形態機能学Ⅲ						変更なし	
専	教授	ムラツ ヲササ 村松 幸	平成26年4月	統計学 情報科学Ⅰ 情報科学Ⅱ 公衆衛生学 保健医療統計 看護研究演習						変更なし	
専	教授	オホノ イサヲ 大久保 岩男	平成27年4月	生命科学 病態病理学 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅳ 小児の健康障害 看護研究演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	教授	オホノ イサヲ 賀来 亨	平成27年7月	生命科学 病態病理学 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 疾病論Ⅳ 小児の健康障害 看護研究演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成27年4月 大久保岩男教授就任辞退 平成27年3月変更書提出済 ※平成27年7月までに開講する科目については、賀来亨が兼任講師として担当する。	
専	講師	オホノ イサヲ 大久保 岩男	平成26年4月	生命科学						変更なし	
専	教授	オホノ スミコ 高波 澄子	平成26年4月	看護を知る 保健医療福祉行政論 在宅看護概論 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 在宅看護論実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	講師	オホノ ナミ 岡田 尚美	平成26年9月	看護を知る 在宅看護援助論Ⅰ 在宅看護援助論Ⅱ 在宅看護論実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年3月 高波澄子教授就任辞退 平成26年7月教員審査済	
					兼任	講師	マルヤマ ショウゴウ 丸山 正三	平成27年4月	保健医療福祉行政論	保健医療福祉行政論については、兼任講師が担当する。	
					兼任	講師	ウエダ イサミ 上田 泉	平成27年4月	在宅看護概論	在宅看護概論については、専任補充であるが遅延しているため、27年度は左記の兼任講師が担当する。27年度中に変更書提出予定	
専	教授	オホノ ヨコ 岡田 洋子	平成28年4月	看護を知る 小児看護学概論 小児看護学実習 看護研究 看護研究演習 看護教育 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし	
専	教授	マツダ ヒトミ 松田 ひとみ	平成28年4月	看護を知る 老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ 老年看護援助論Ⅱ 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ							変更なし
専	講師	マツダ ヒトミ 松田 ひとみ	平成27年4月	老年看護学概論 老年看護援助論Ⅰ	兼任	講師	サカガ イミコ 坂倉 恵美子	平成27年4月	老年看護学概論	平成27年4月 松田ひとみ辞退 平成27年度のみ左記の兼任講師が担当する。	
					兼任	講師	サカガ イミコ 坂倉 恵美子	平成27年9月	老年看護援助論Ⅰ	平成27年4月 松田ひとみ辞退 平成27年度のみ左記の兼任講師が担当する。	
専	教授	ハヤシ ミエコ 林 美枝子	平成26年4月	文化人類学 家族論 看護研究演習						変更なし	

専	教授	コヤマ ミチコ 小山 満子	平成26年4月	看護を知る 母性看護学概論 母性看護学実習 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	教授	モンマ マサコ 門間 正子	平成26年4月	看護を知る 健康教育論 成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	教授	サカ 三 允 坂田 三 允	平成28年4月	看護を知る 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	サカ 三 允 坂田 三 允	平成27年9月	精神看護学概論						変更なし
教員の新規採用 (設置時の計画なし)					専	教授	ハシ 智恵美 畑瀬 智恵美	平成27年4月	看護を知る 看護学概論 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 診療過程の援助技術 ケアマネジメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年9月教員審査済 基礎看護学領域の教員の充実ため、 補充。
専	准教授	ハラヤ タミ 原谷 珠美	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	准教授	ハラヤ タミ 原谷 珠美	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ チーム医療 看護倫理 医療安全 看護管理	平成27年1月教員審査済 下記の4科目を追加(当該科目の担 当教員の充実のため) ・チーム医療 ・看護倫理 ・医療安全 ・看護管理
専	准教授	ササキ ユキコ 佐々木 由紀子	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学特論※ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 感染管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	准教授	ササキ ユキコ 佐々木 由紀子	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学特論※ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 感染管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ チーム医療 看護倫理 医療安全 看護管理	平成27年1月教員審査済 下記の4科目を追加(当該科目の担 当教員の充実のため) ・チーム医療 ・看護倫理 ・医療安全 ・看護管理
専	准教授	マツモト マユミ 松本 真由美	平成26年4月	心理学 発達心理学 人間関係論 カウンセリング論 臨床心理						変更なし

専	准教授	イトウ リョウコ 伊藤 良子	平成27年4月	看護を知る 小児看護援助論 小児看護学実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						平成27年4月 伊藤良子准教授就任辞退 平成27年度中変更書提出予定
専	准教授	モリガチ マイ 森口 真衣	平成26年4月	倫理学 生命倫理 宗教と思想 看護研究演習						変更なし
専	准教授	ヤマダ アツシ 山田 敦士	平成26年4月	日本語表現 中国語						変更なし
専	准教授	コジマ エツコ 小島 悦子	平成26年4月	看護を知る 看護学概論 援助的人間関係論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	准教授	コジマ エツコ 小島 悦子	平成26年4月	看護を知る 看護学概論 援助的人間関係論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント	平成27年3月変更書提出済 下記の6科目を追加（当該科目の担当教員の充実のため） ・看護の基本技術論 ・生活援助技術Ⅰ ・生活援助技術Ⅱ ・生活援助技術Ⅲ ・診療過程の援助技術 ・フィジカルアセスメント
専	准教授	ホンマ ヒロコ 本間 裕子	平成26年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	講師	タカハシ ヨシ 高儀 郁美	平成27年4月	看護を知る 成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 成人看護援助論Ⅲ 成人看護学討議※ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年3月 本間裕子准教授就任辞退 平成27年1月教員審査済
専	講師	スズキ ヤサ 鈴木 康世	平成26年4月	看護を知る チーム医療 看護倫理 看護の基本技術論 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント 医療安全 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	助教	タカハシ マコ 高田 麻依子	平成27年4月	看護を知る チーム医療 看護倫理 看護の基本技術論 診療過程の援助技術 フィジカルアセスメント 医療安全 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護管理 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年3月 鈴木康世講師就任辞退 平成27年1月教員審査済
専	講師	イトウ ヒロミ 伊藤 廣美	平成26年4月	看護を知る 精神看護援助論 精神看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 医療情報 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	フジカサ スガコ 藤長 すが子	平成26年4月	看護を知る 看護の基本技術論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	シノノギ カズ 滋野 和恵	平成26年4月	看護を知る 精神看護学実習 統合実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし

専	講師	フクシマ マリ 福島 真里	平成26年4月	看護を知る 母性看護援助論 母性看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	講師	オオムラ イクコ 大村 郁子	平成28年4月	看護を知る 母性看護援助論 母性看護学実習 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
専	助教	サイノウ キョウコ 斉藤 恭子	平成26年4月	看護を知る 援助的人間関係論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	専	助教	ハギタ マミ 萩田 真美	平成26年9月	看護を知る 援助的人間関係論 生活援助技術Ⅰ 生活援助技術Ⅱ 生活援助技術Ⅲ 診療過程の援助技術 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ	平成26年3月 斉藤恭子助教就任辞退。 平成26年7月教員審査済 看護研究演習の科目については、補充不要の判定だったため教員の補充なし。
専	助教	サイノウ リカ 斉藤 リカ	平成26年4月	看護を知る 老年看護学実習Ⅱ 看護研究 看護研究演習 臨床看護技術演習 看護ゼミナールⅠ 看護ゼミナールⅡ 看護ゼミナールⅢ 看護ゼミナールⅣ						変更なし
兼任	講師	フササキ キョウジ 房崎 清隆	平成26年4月	哲学 論理学						変更なし
兼任	講師	イマイ ヨシエ 今井 由恵	平成27年4月	音楽						変更なし
兼任	講師	ヨシムラ サコ 良村 貞子	平成27年4月	法学 関係法規						変更なし
兼任	講師	スズキ トシマサ 鈴木 敏正	平成27年4月	教育学						変更なし
兼任	講師	クリト ミスエ 栗本 瑞恵	平成26年4月	北海道史						変更なし
兼任	講師	ミヤエリ ヨシコ 宮森 芳子	平成26年4月	生活科学						変更なし
兼任	講師	アイチ タイノウ 相内 泰三	平成26年4月	自然科学						変更なし
兼任	講師	モリヤ キコ 森谷 梨	平成26年4月	環境科学						変更なし

兼任	講師	ゴトウ ユリ 後藤 ゆり	平成26年4月	生活と運動 健康とスポーツ							変更なし
兼任	講師	ウエムラ マサヨ 上村 真代	平成26年4月	英語 I							変更なし
兼任	講師	セフ・ブルックリン	平成26年4月	英語 II							変更なし
兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 壮太	平成27年4月	英語 III 英語 IV	兼任	講師	アカマ ソウタ 赤間 荘太	平成27年4月	英語 III 英語 IV		氏名の間違い
兼任	講師	キム チョウケン 金 昌震	平成27年4月	韓国語							変更なし
兼任	講師	フジイ ノブヒロ 藤井 暢弘	平成26年4月	臨床微生物学 感染症概論							変更なし
兼任	講師	ナカムラ トオル 中村 亨	平成28年4月	臨床薬理学							変更なし
兼任	講師	スズキ ジュンコ 鈴木 純子	平成28年4月	臨床栄養学							変更なし
兼任	講師	マツハラ イズミ 松原 泉	平成27年4月	治療法概論							変更なし
兼任	講師	ハマジマ イズミ 浜島 泉	平成27年4月	疾病論 III							変更なし
兼任	講師	オオタ マコト 太田 誠	平成28年4月	リハビリテーション概論							変更なし
兼任	講師	スガウラ ヒロシ 菅原 啓	平成27年9月	高齢者の健康障害	兼任	講師	タケコシ ヤスオ 武越 靖朗	平成27年9月	高齢者の健康障害		平成27年4月 菅原啓就任辞退 平成27年9月 左記の兼任講師就任予定
兼任	講師	ヤマモト テツゾウ 山本 哲三	平成28年4月	女性の健康障害							変更なし

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	高 波 澄 子	
2	准教授	本 間 裕 子	
3	講師	鈴 木 康 世	
4	助教	斉 藤 恭 子	
5	教授	大久保 岩 男	
6	准教授	伊 藤 良 子	

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none">・ 交代については、やむを得ないと判断し事前相談を行った。・ 学生には担当教員が変更になった旨、周知徹底した。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (26年4月)	・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	(26)設置計画を確実に履行し、四年制大学にふさわしい教育研究活動を行い、質的充実に努める。 (27)引き続き設置計画の履行に努める。	
	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること	留意事項	(26)教員組織編成の将来構想について、変更になる教員(4人)について若手を採用するように工夫した。 (27)26年度の教員審査において若手の教員を採用した。	
	・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた2授業科目については、確実に専任教員を配置すること	留意事項	(26)上記を踏まえて、26年6月に教員審査を申請する。 (27)26年度中に当該科目については教員審査済である。	
	・学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元に取り組むこと。	留意事項	(26)26年度予算から割合をあげるべく努力する。 (学生中心の大学づくりを進める) (27)引き続き学生中心の大学づくりに努める。	
設置計画履行状況 調 査 時 (26年5月)	な し			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 入学試験範囲の変更 科目：英語 入学試験範囲：「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」	① 平成25年度高等学校入学生から、新しい高等学校学習指導要領（平成21年告示高等学校学習指導要領）が適用されたことに伴い、従来の入学試験範囲の「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」を平成28年度入学試験から以下のとおり変更する。 「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・ FD委員会（27年度から保健医療学部リハビリテーション学科と合同で設置） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 第1回FD委員会 平成26年4月30日（教員3人、事務職員1人） ・ 第2回FD委員会 平成26年5月26日（教員3人、事務職員1人） ・ 第3回FD委員会 平成26年6月25日（教員3人、事務職員1人） ・ 第4回FD委員会 平成26年7月28日（教員3人、事務職員1人） ・ 第5回FD委員会 平成26年10月6日（教員3人、事務職員1人） c 委員会の審議事項等 ・ 授業評価アンケートについて ・ 教員研修会の実施について ・ 講演会の実施について ② 実施状況 a 実施内容 ・ 授業アンケートの実施と結果の公表を行った。 ・ 教員研修会の実施し、カリキュラムの検討等を行った。 ・ 外部講師を招き、インターネット環境を活用した授業の質の向上につながる講演を行った。 b 実施方法 ・ 上記の実施内容にしたがって実施した。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 授業アンケートは学期毎、研修会及び講演会は26年度は1回開催した。 ・ 研修会及び講演会の教員参加状況は7～8割程度 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 自己点検評価に反映するためにも、実施内容、課題等について実施報告の作成を行う。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期

- ・ 学期毎に実施 前期：6～7月 後期：11～12月
- b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・ 教員及び学生への公開を行っている。 前期分：9月 後期分：4月

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・ 平成26年度自己点検評価報告書作成中
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・ 未定
 - b 公表方法
 - ・ 検討中
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・ 検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
 - b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27年6月)